

第 12 号 (2006.3)

<特集：戦争と移民>

市民権を「放棄」させる論理—1944年の日系アメリカ人と2004年のハムディを結ぶもの—村川庸子
パールハーバーと9.11—歴史の教訓は活かせるか？—山倉明弘

<論文>

戦間期におけるハワイ日系人の帰農運動—奥村多喜衛と二世自作農—物部ひろみ
戦後の日系コミュニティと帰化権—『布哇報知』を通して—高木(北山)真理子
終わりなき同化と異化のはざまに—ウチナーンチュ・コミュニティと帰米二世の言語文化—金城宏幸
在日ブラジル人青少年の「日本での単純労働」観—ブラジル人学校就学者の事例を中心に—拝野寿美子

<研究ノート>

政教社「国粋主義」の展開—「人種主義」との関わりについて—水野 守
移民経験者と家族のキャリア・コース—地元漁業からの離脱—武田尚子
ハワイへ渡った戦争花嫁—日米の戦後政治の狭間で形成されたイメージと実際の経験—土屋智子
外国人の子どもの就学状況に関する変動—パイロット地域・岐阜県可児市における実態調査から—小島祥美・中村安秀

<書評>

広瀬玲子著『国粋主義者の国際認識と国家構想—福本日南を中心として』…木村健二
梶田孝道・丹野清人・樋口直人著『顔の見えない定住化—日系ブラジル人と国家・市場・移民ネットワーク』…赤木妙子
吉田亮編著『アメリカ日本人移民の越境教育史』…小澤智子
渋谷努著『国境を越える名誉と家族—フランス在住モロッコ移民をめぐる「多現場」民族誌』…石川真作
竹沢泰子編『人種概念の普遍性を問う—西洋的パラダイムを超えて』…和泉真澄
イゴリ R. サヴェリエフ著『移民と国家—極東ロシアにおける中国人、朝鮮人、日本人移民』…坂口満宏